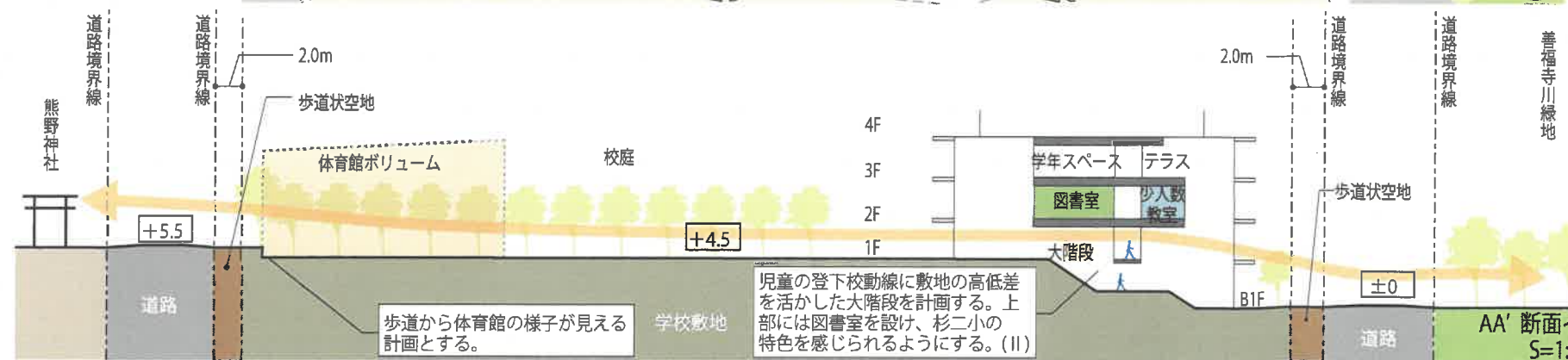


施設コンセプト

校庭と善福寺川緑地をつなぎ、あいだに「こどもの活動」を生み出す(II)
丘のような敷地と善福寺川緑地との希薄な関係の現状に対して、主な出入口と大階段の昇降動線を作り、校庭と緑地との間を人が行きかう連続性を生み出す。また緑地側にも積極的に教室を配置し、恵まれた環境を楽しむ、この場所ならではのゆまいや活き活きとした、表情豊かな学び舎とする。

安全安心を確保する施設(II, III)
敷地内では児童の見守りが出来るよう、職員室、保健室等を校庭に面して計画。また、校庭、学童、体育館の移動しやすさに配慮する。体育館が避難所として使われる際にも、明快なセキュリティにより、学校運営が継続できる計画とする。

図書室を中心とした学びを育てるゾーニング(Ⅰ)
児童動線の結節点となる位置に図書室を置くことで、学校生活の中心となり、さまざまな調べ学習や郷土資料に触れ、知りたい時にすぐに調べられるといった学習環境を整える。同時に学年のまとまりが崩れにくい、特別教室、普通教室ゾーニングとする。

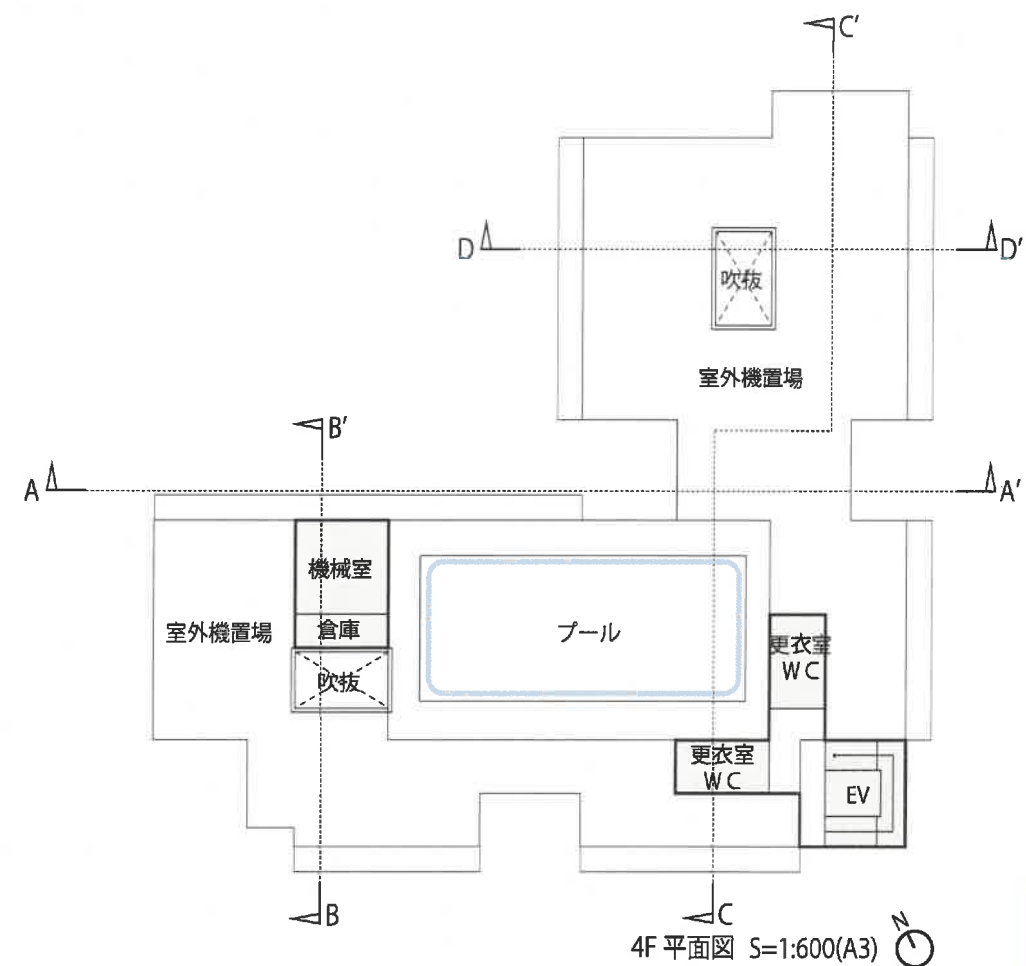
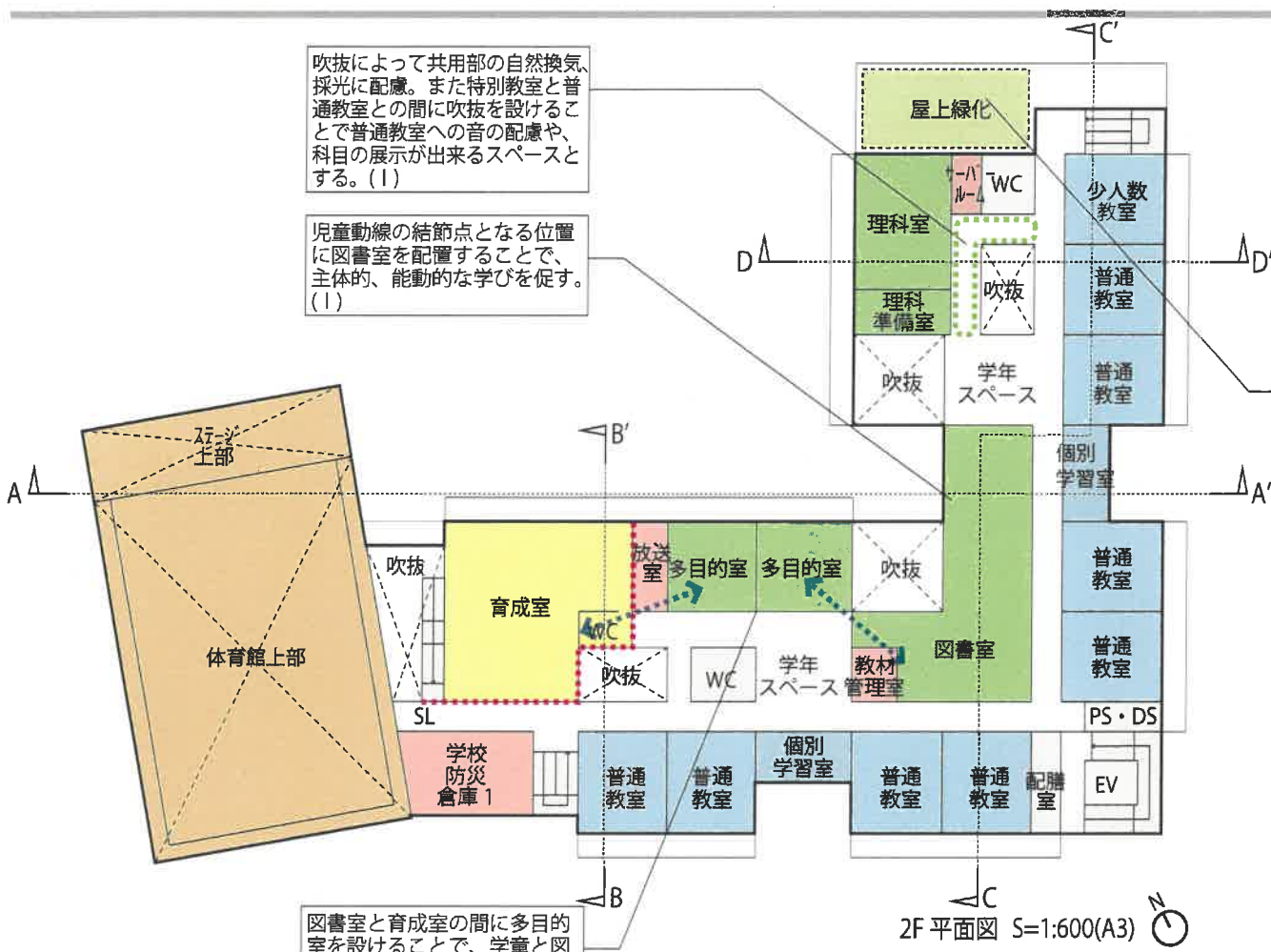


- 凡例
- 普通教室
 - 特別教室
 - 体育館
 - 管理諸室
 - 学童・開放施設
 - その他
 - 保健室
 - 職員室
 - 昇降口
 - 給食調理場
 - 防災倉庫
 - プール
 - 児童職員メインアプローチ
 - 児童職員サブアプローチ
 - 地域開放アプローチ
 - 道路境界ライン
 - 歩道状空地
 - 擁壁
 - 車両アプローチ
 - 給食調理アプローチ
 - セキュリティライン (SL)
 - 防球ネット
 - 東側道路を起点とした概略高低差 (m)

吹抜によって共用部の自然換気、採光に配慮。また特別教室と普通教室との間に吹抜を設けることで普通教室への音の配慮や、科目の展示が出来るスペースとする。(1)

児童動線の結節点となる位置に図書室を配置することで、主体的、能動的な学びを促す。(1)

図書室と育成室の間に多目的室を設けることで、学童と図書室間でフレキシブルに活用。



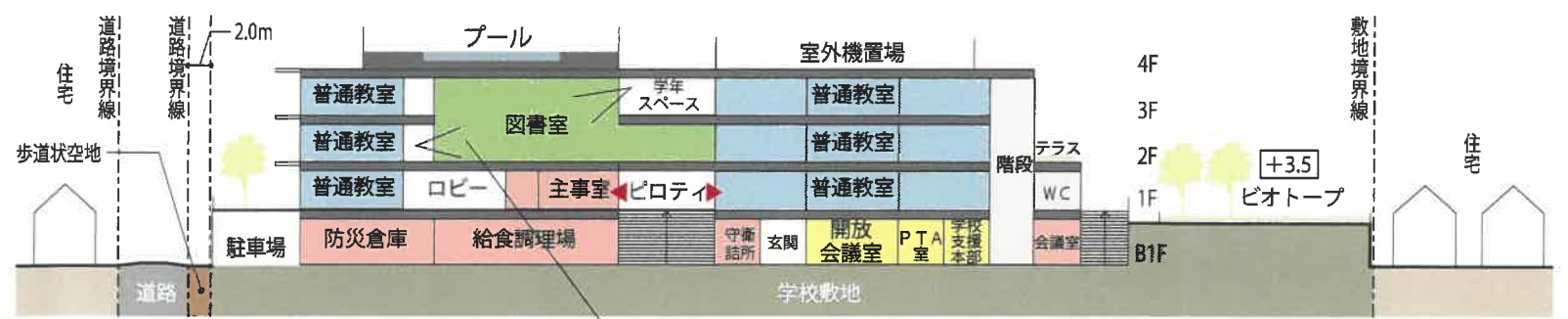
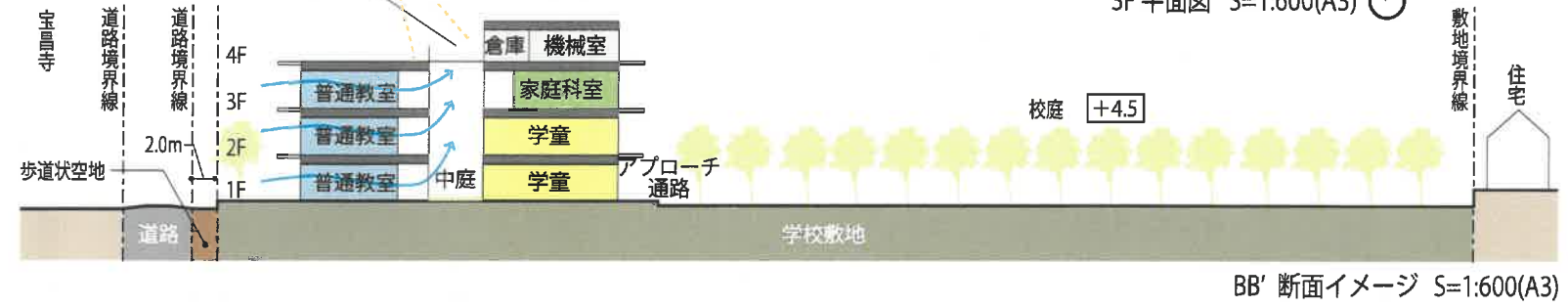
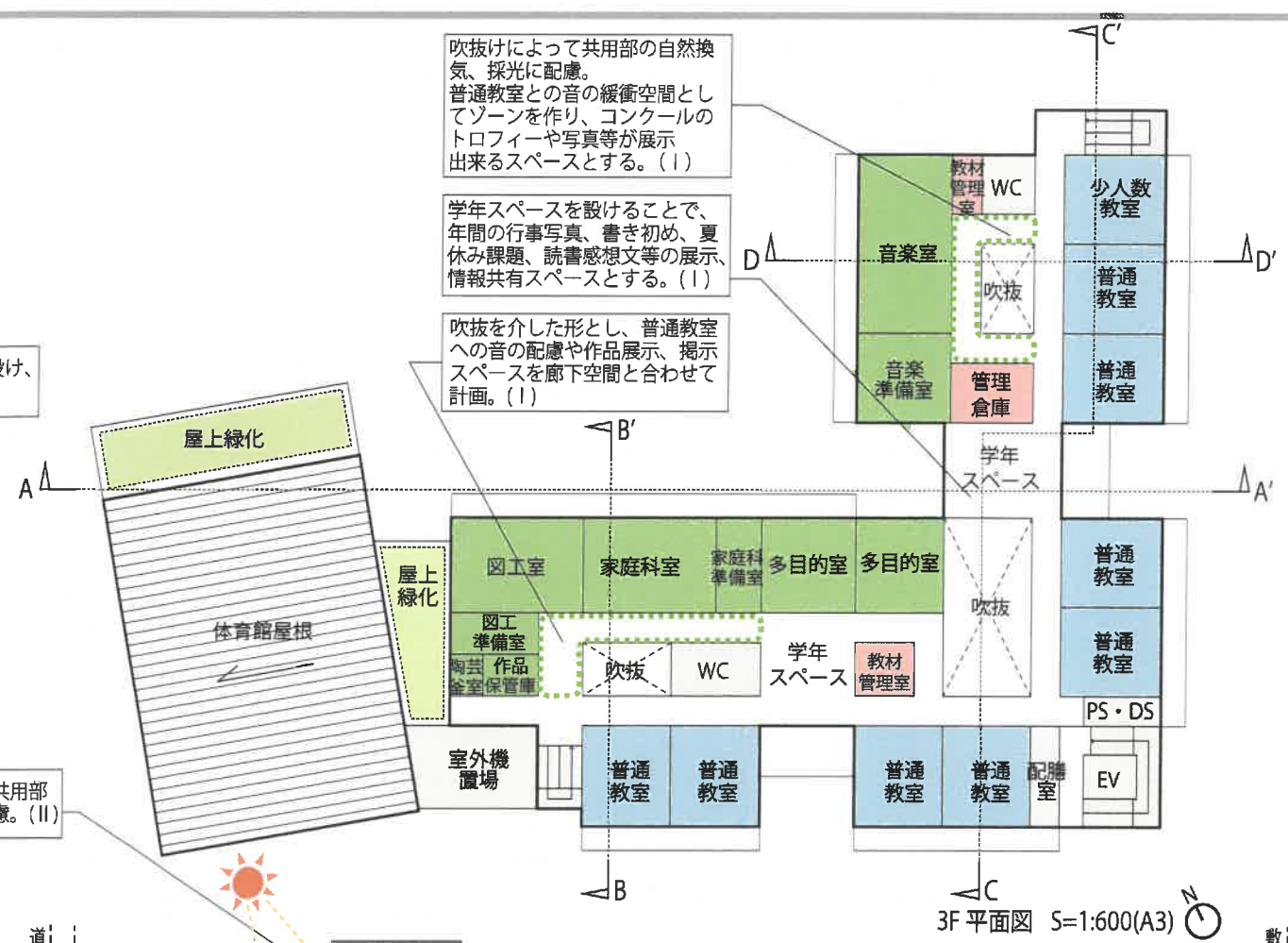
理科室脇に観察テラスを設け、植物の観察を行う。(1)

中庭の吹抜を作ることで、共用部の自然換気、自然採光に配慮。(II)

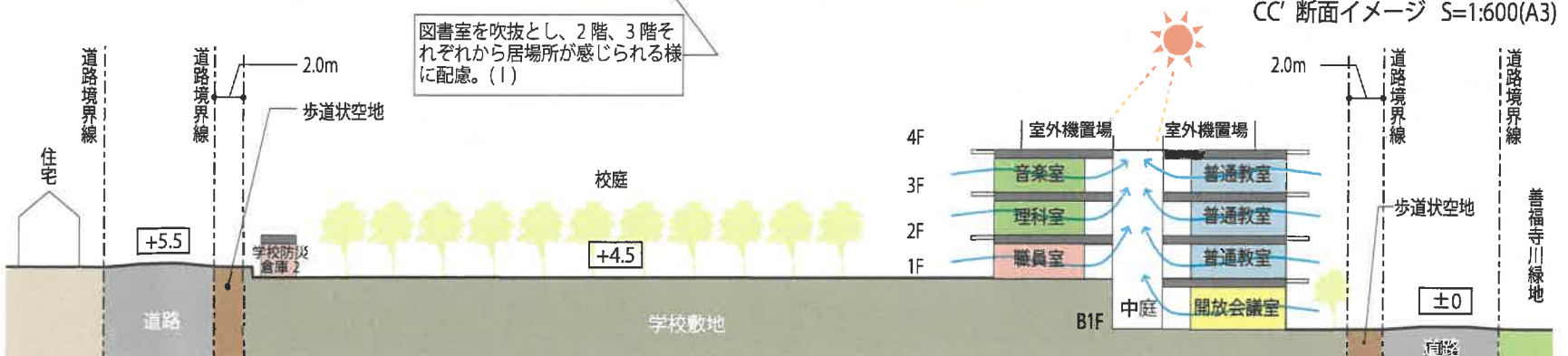
吹抜によって共用部の自然換気、採光に配慮。普通教室との音の緩衝空間としてゾーンを作り、コンクリートのトロフィーや写真等が展示出来るスペースとする。(1)

学年スペースを設けることで、年間の行事写真、書き初め、夏休み課題、読書感想文等の展示、情報共有スペースとする。(1)

吹抜を介した形とし、普通教室への音の配慮や作品展示、掲示スペースを廊下空間と合わせて計画。(1)

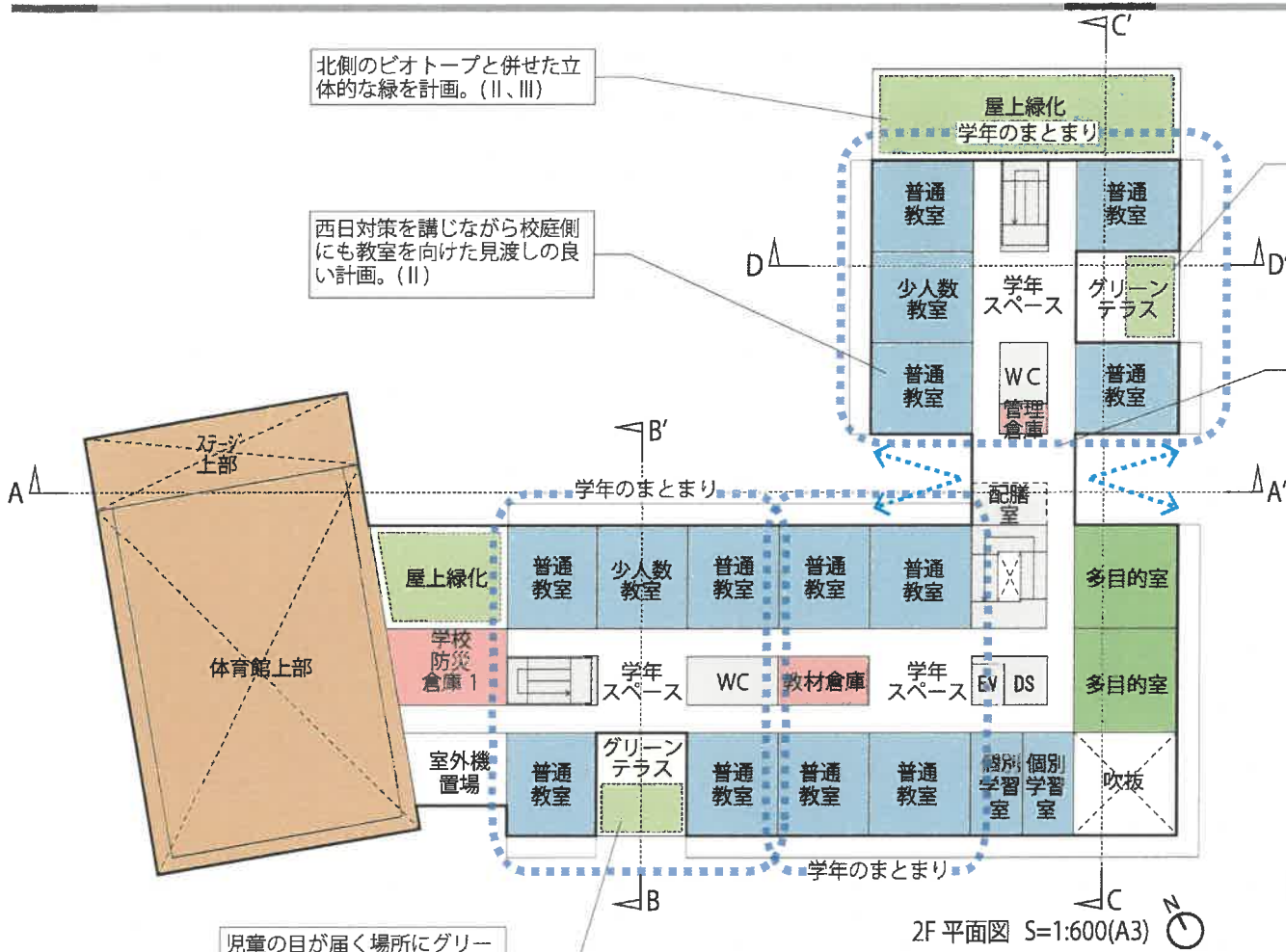


図書室を吹抜とし、2階、3階それぞれから居場所が感じられる様に配慮。(1)



北側のピオトープと併せた立体的な緑を計画。(II、III)

西日対策を講じながら校庭側にも教室に向けた見渡しの良い計画。(II)



児童の目が届く場所にグリーンテラスを計画。同時に自然換気、採光を確保(II)

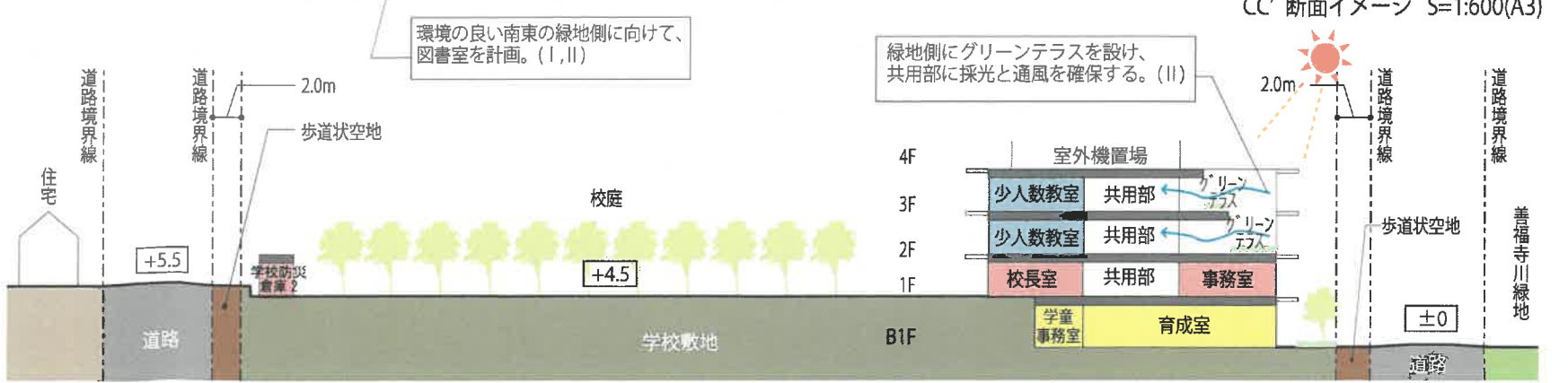
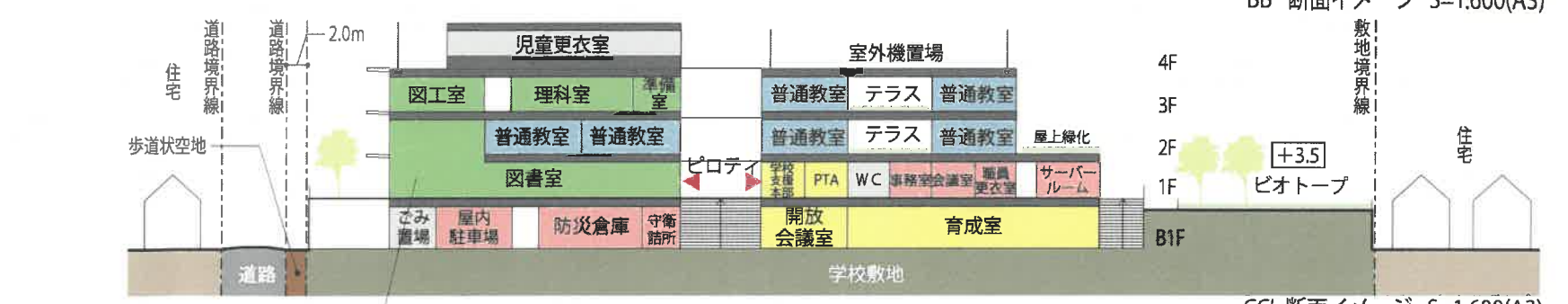
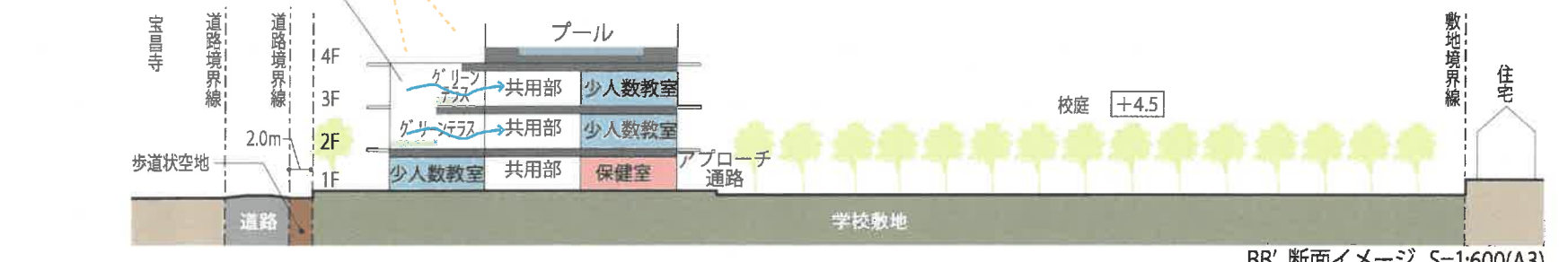
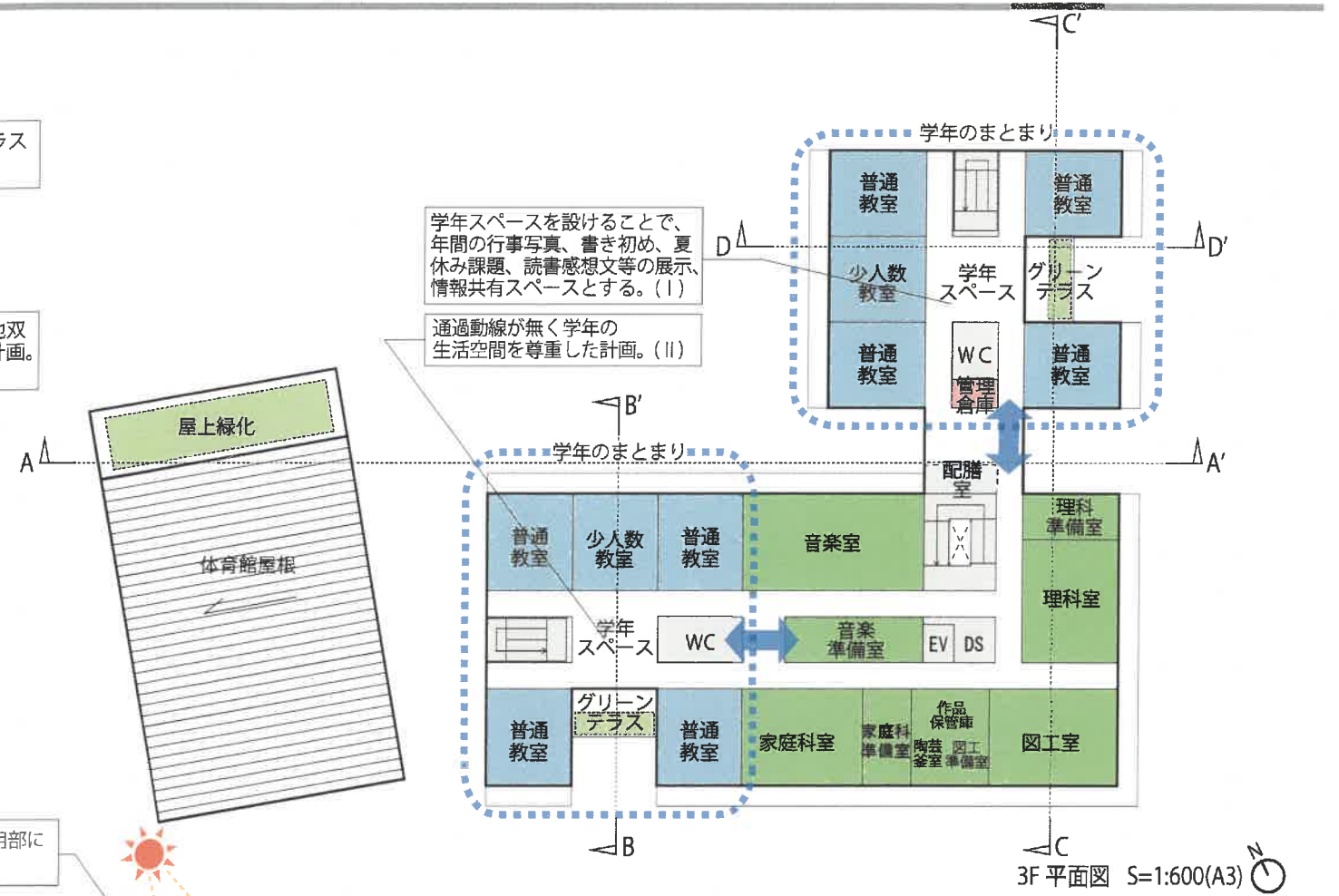
緑地に面してグリーンテラスを計画。(II、III)

中央階段付近に校庭と緑地双方を見渡せるスペースを計画。(II)

グリーンテラスを設け、共用部に採光と通風を確保する。(II)

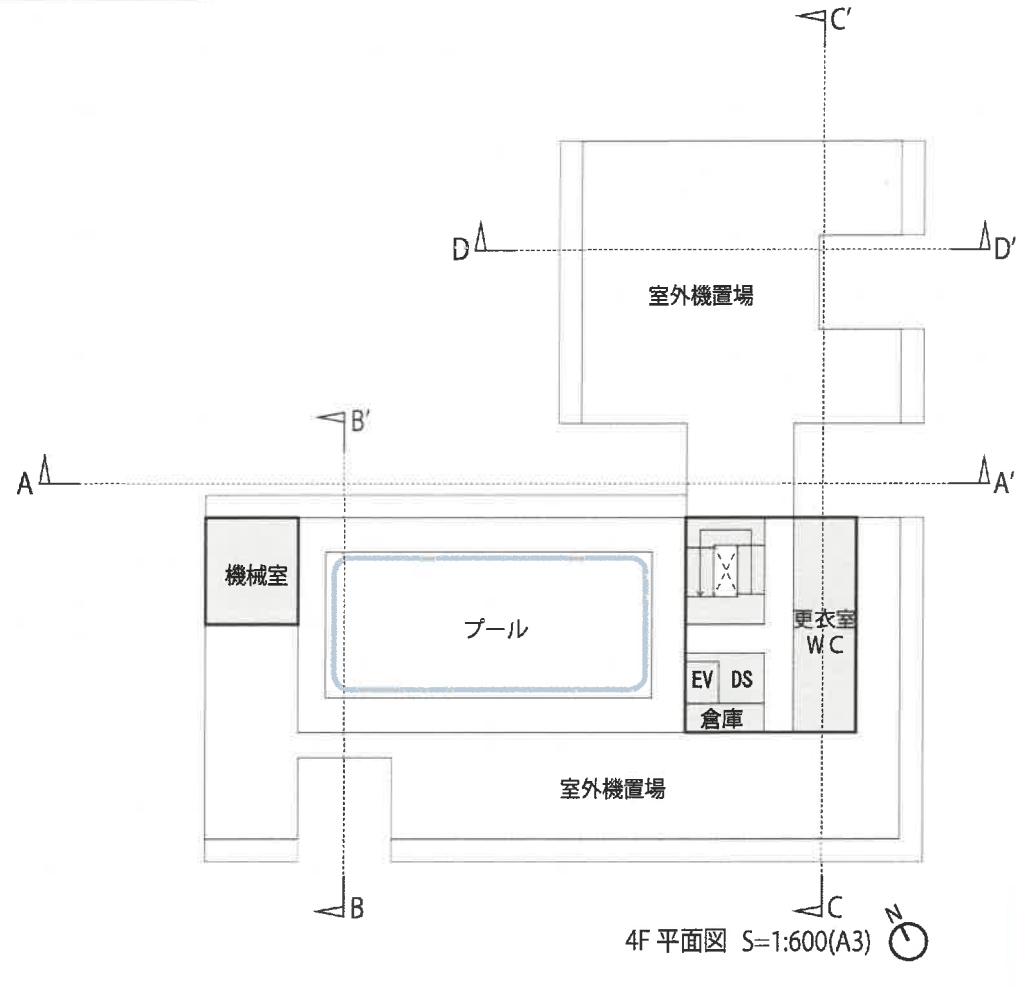
学年スペースを設けることで、年間の行事写真、書き初め、夏休み課題、読書感想文等の展示、情報共有スペースとする。(I)

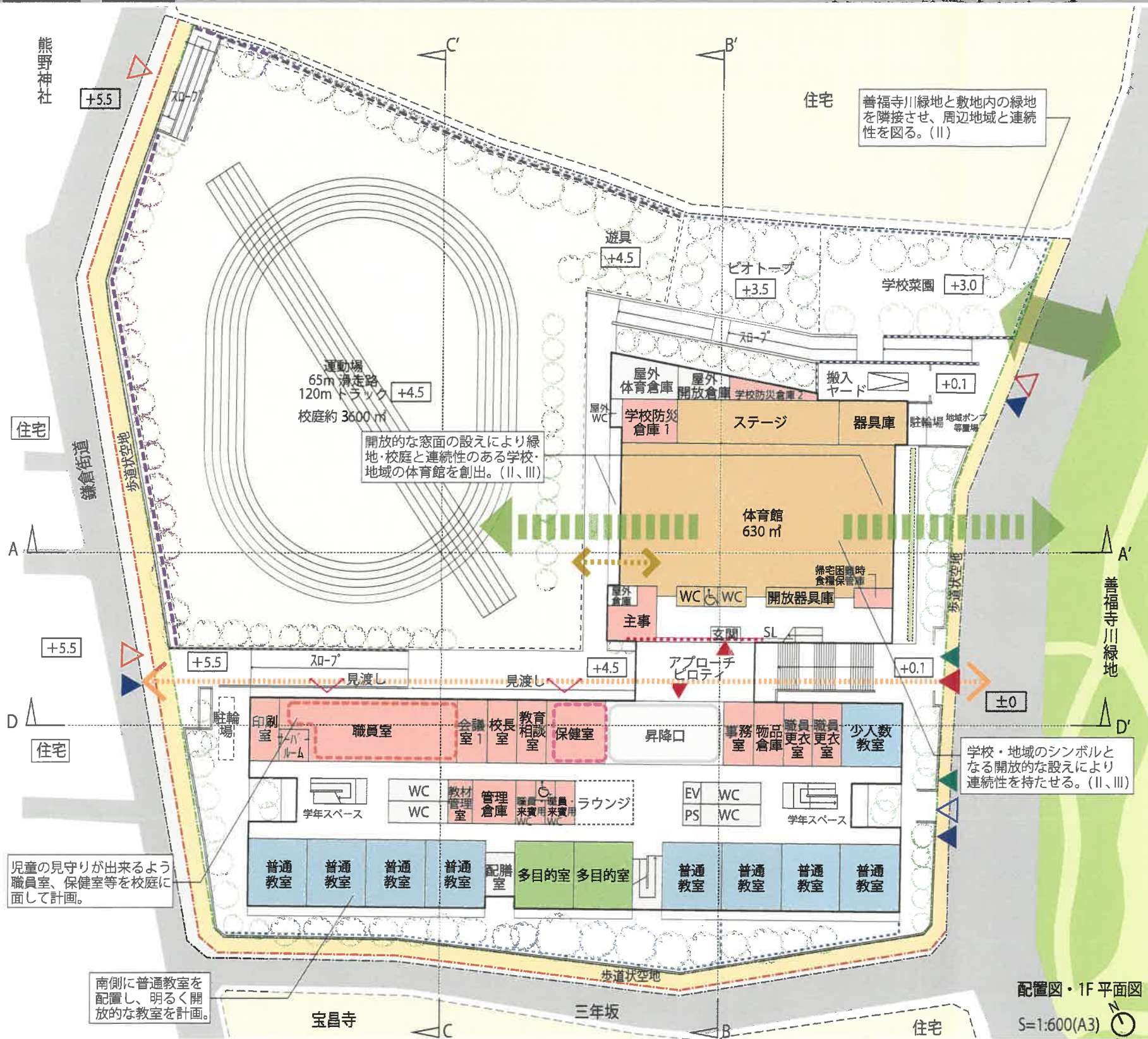
通過動線が無く学年の生活空間を尊重した計画。(II)



環境の良い南東の緑地側に向けて、図書室を計画。(I、II)

緑地側にグリーンテラスを設け、共用部に採光と通風を確保する。(II)





施設コンセプト

緑地に面する学校・地域のシンボル「体育館」のある風景の創出 (II, III) アプローチ動線と敷地の高低差を活用した明確なゾーニング (II, III) 見通しが良く、動線や諸室配置がわかりやすい校舎 (I, III)

体育館の東西面を開放的設えとし、善福寺川緑地、校庭、鎌倉街道との連続性を持たせることで、地域との一体性の高い学校とする。地域コミュニティ活動に寄与し、地域のシンボルとなる体育館を持つ学校とする。

東西を結ぶアプローチ動線に面して校舎、校庭、体育館が展開する配置構成。体育館を離し、敷地高低差を活かした地上・地下のエリア分けによって、学童、地域開放諸室との利用上の区別が明瞭な配置構成とする。

校庭側1階に管理諸室、2・3階に特別教室、南側3階に教室を配置し、中央に昇降口、中央・東西に階段を配置した見通しが良く、わかりやすい校舎。図書室中央配置による本の親しみや渡り廊下による体育館利用に配慮した計画とする。

